

資料1

広島県の取組について

広島県の取組について（庁内連携の取組）

- ・防災シミュレーションゲームや、「Pepper」を使った「ひろしま防災出前講座」を展開

（みんなで減災課、砂防課、河川課、県教委）



- ・率先避難、呼びかけ避難のメッセージを、ポスター掲示やテレビ、WEB広告など多様なメディアを通じて発信

（砂防課、庁内関係課）



- ・外国人防災リーダー等を対象とした研修会で、自治体国際化協会が作成した多言語版マイ・タイムライン検討ツールや、小学生向け説明資料を活用（国際課、みんなで減災課）



- ・県内のスーパーやホームセンターなどの協力を得て、各店舗で、防災グッズを紹介(みんなで減災推進課)
- ・大規模地震の発生を想定し、命を守るために必要な「安全行動1-2-3」を実施する防災訓練を実施(みんなで減災推進課)
- ・防災タイムライン作成を促進するため、イベントでの作成呼びかけなど、プロモーションを実施(みんなで減災推進課)
- ・ひろしま自然災害体験VRを出前講座のメニューとして活用したほか、貸出等を実施(みんなで減災推進課)
- ・自主防災組織の総会などの機会を活用したセミナーや災害図上訓練を実施し、避難の呼びかけの体制構築を促進(消防保安課)

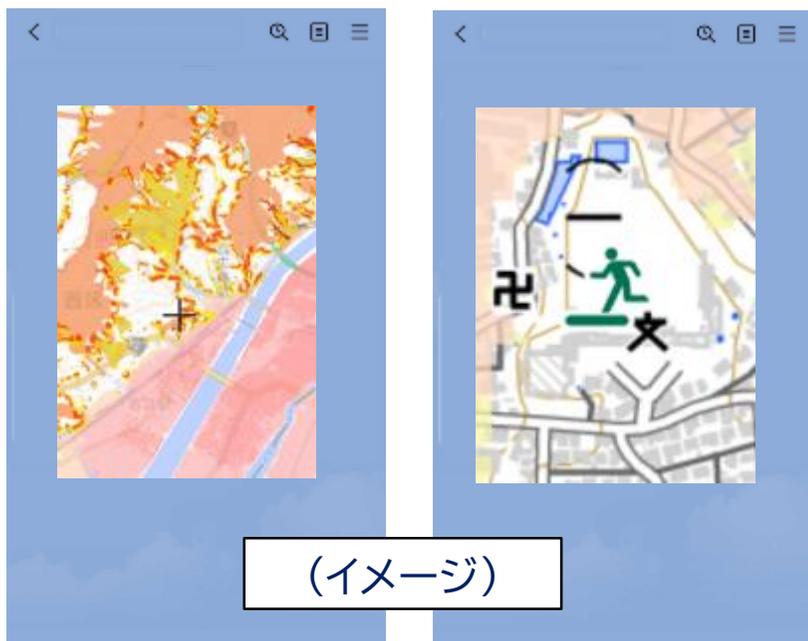


- ・避難の呼びかけ体制が構築されている組織に対し、自主防災アドバイザーの派遣や訓練への指導助言など、体制の維持・充実の支援を実施(消防保安課)
- ・市町の避難所開設・運営訓練の実施、マニュアルの改善支援(健康危機管理課)
- ・アドバイザー派遣、活動費用助成などの支援による市町の個別避難計画の策定促進(地域共生社会推進課)
- ・県内在住の外国人に向けた、大雨や大雪などの防災情報の随時発信(国際課)
- ・土砂災害警戒区域等を有する小学校区を対象に土砂災害警戒区域等を示した標識を設置(砂防課)



住所入力や位置情報から、

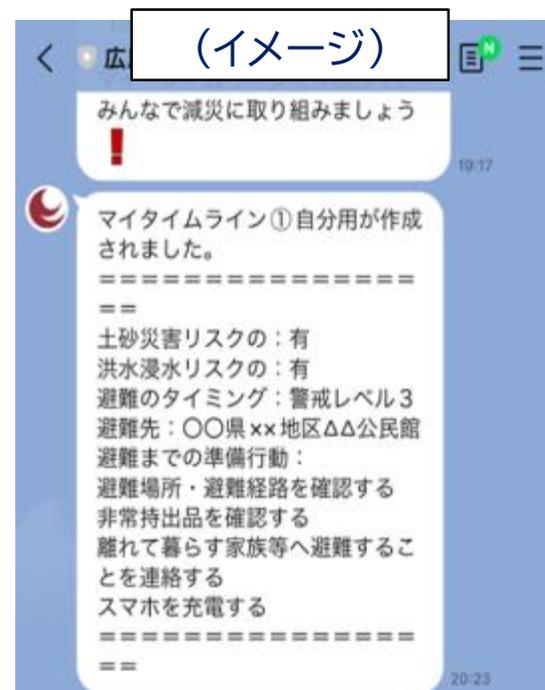
- 自宅周辺の災害による
想定危険度の確認
- 地図上で自宅近くの避難場所
の確認



画面上で
確認



マイ・タイムラインが完成！



災害に備えて
チェック！



作成された
マイ・タイムラインの例

マイ・タイムラインに基づいて 災害時には通知が届く

地域単位でのマイ・タイムラインの普及促進

➤ 地域全体で、適切な避難行動を実践して頂けるよう、「地域防災タイムライン」の取組を実施

➤ 自主防災組織における避難の呼びかけ体制の構築、維持・充実とマイ・タイムラインの作成を一体的に展開

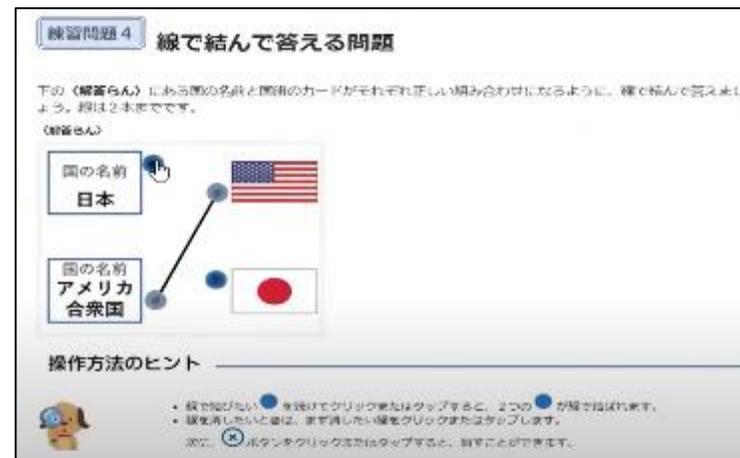
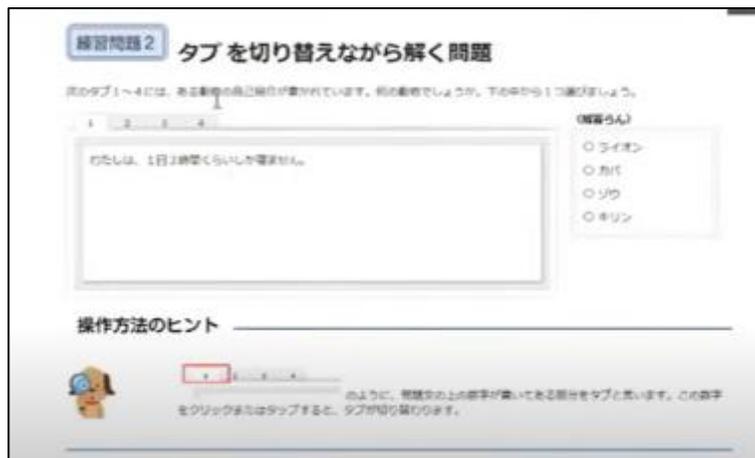
➤ 市町と連携し、自主防災組織の役員や防災リーダー等に説明し、防災訓練などの場で活用して頂くよう取組を実施

マイ・タイムラインに関する内容

自主防災組織の避難の呼びかけ体制に関する内容



- 防災知識等の学習や演習問題は、生徒一人でも楽しみながら、前向きに取り組めるもの
- 同時に、生徒が防災への応用力や適応力を身に付けられるよう、状況下に応じた適切な行動や地域のリスクを考える実践問題や応用課題にも取り組めるようする。



(出典:文部科学省)